



ほたる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
(カウンセリングのことは当社までお問合せ下さい)
【今月の一冊】 ジョハリの窓
久瑠あさ美 著 朝日出版社
ホームページ URL <http://www15.ocn.ne.jp/~prime21/>

発行日 2012年12月1日 Vol. 122
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
代表取締役 渡邊 敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

ノーベル賞

昨年の2011年には日本人の受賞者がいなかったのですが、今年は素晴らしい知らせが入ってきました。京都大学の山中伸弥教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞されました。

「iPS細胞」についての研究ですが、人の皮膚などから摂取した体細胞に特定の遺伝子などを導入することで、様々な組織や臓器の細胞に分化するように性質が変化した細胞のことです。山中伸弥教授のグループが世界で初めて2006年にマウスで、2007年にヒトでつくりだしました。神経細胞を再生できれば、事故で脊椎を損傷した患者や、パーキンソン病やアルツハイマー病など、中枢神経の特定の神経細胞群が徐々に機能を失っていく神経変性疾患に苦しむ患者さんたちを回復させることが可能になると言われ、再生医療への扉をひらく鍵として世界中の注目を集めています。

「iPS細胞」という名前は、山中伸弥教授自身が命名したもので、最初を小文字の「i」にしたのは、当時世界的に大流行していたアメリカのアップル社の携帯音楽プレーヤーである「iPod」のように普及してほしいという願いが込められているそうです。

山中伸弥教授は、もともとは整形外科医をしていましたが、とても不器用だったので通常なら15分で終わるはずの手術が、1時間経ってもまだ終わらない。邪魔で役立たずの「ジャマナカ」と呼ばれていたそうです。自分自身が外科医に向いていないんじゃないかという気持ちになり、昔から興味のあった研究をやってみようと思い、大学院に入り直しました。

アメリカのグラッドストーン研究所に留学をしていた時に、恩師から教わったことがありました。それは「VW」という二文字がとても大切だということです。ビジョンの「V」とワークハードの「W」の頭文字で「VW」。長期的な展望としっかりとした目標を持ち、懸命に努力を重ねればその思いは必ず叶うということです。

京都大学が「iPS細胞」の研究をサポートするために設けた「iPS細胞研究基金」への寄付が、10月8日にノーベル生理学・医学賞を受賞が決まってから以降、11月末までの1ヶ月半で個人、団体、企業から約2600件も殺到し、4億円を超える金額が集まった。研究の成果を1日も早く実用化し、多くの患者さんの期待に応えて欲しいと思います。



未来の姿

先月号で「インフラ」について書かせて頂いたばかりですが、中央自動車道の笹子トンネルで死亡事故が起こってしまいました。高度成長期に整備された道路や橋、そして上下水道など、全国で通行が規制されている危険な橋は1300ヶ所、水道管やガス管の破裂も相次いでいます。私たちの豊かな生活を支える「インフラ」の維持、管理にかかる費用は、年間9兆円にもなるそうです。今回の事故は“老朽”が原因だとのこと。

昨年の大地震や津波もそうですが、私たちはいつ災害に巻き込まれるかわかりません。私も今回の事故が起こった笹子トンネルを数時間前に利用していたことを考えるとぞっとしてしまいます。

今、衆議院議員選挙が行われていますが、『未来の姿』を示している政党はあるのでしょうか。あったとしてもあまりクローズアップされていません。私たちの耳に入ってくる情報は、景気対策や原発を含むエネルギー政策、そして消費増税のことばかりです。それぞれのことはとても大切で重要なのですが、これから10年後、20年後にどんな社会を目指すのかを描かずに、何をどう判断したらいいのでしょうか。また、私たちはどこに向かって行こうとしているのでしょうか。国政に不満を感じている人は94.7%にも上り、国政の満足度を調査すると、「非常に不満」という回答が7割にもなります。枝葉ではなく“幹”を大切にもらいたいと思います。

今年も「ほたる」をお読み頂きありがとうございました。

【座右の銘にしたい名言】



人生で経験した全ての逆境、トラブル、障害が、私を

まっすぐにし、強くしてくれた。(ウォルト・ディズニー/ディズニー創業者)

◇年末年始のご案内・・・12月29日から1月6日までお休みさせていただきます。